

平均在院日数

平均在院日数とは、1人1人の患者様が平均何日間入院しているかを示すもので、効率的な医療がいかに行き届いているか、患者様が早期に社会復帰を促進しているかを表す指標です。

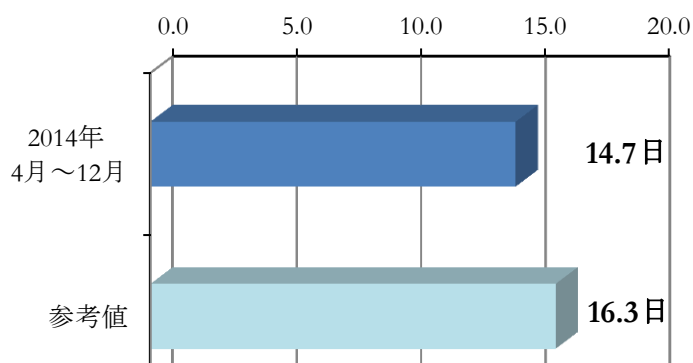
計算式

$$\frac{\text{分子: 在院患者延べ日数}}{\text{分母: (新入院患者数 + 新退院患者数) / 2}} \quad (\text{日})$$

～当院はどうか??～

当院の在院日数は、2014年4月から12月までの平均で14.7日でした。疾病や重症度によって違いはありますが、医療の質を保証しつつ、効率的な医療を提供することで在院日数の短縮化につながっています。

平均在院日数



※参考値 厚生労働省 病院報告 2014年10月 一般病床より

病床利用率

病床利用率とは、病床がどれくらいの割合で利用されているかを示すもので、どの程度効率的に病床を利用できているかを表す指標です。

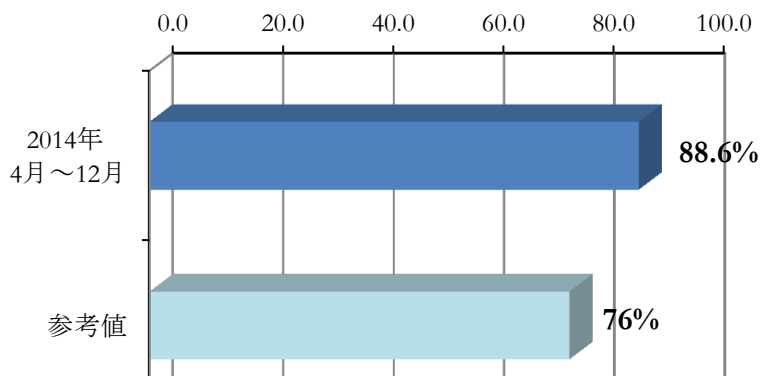
計算式

$$\frac{\text{分子: 入院延べ患者数}}{\text{分母: 延べ病床数}} \quad (\%)$$

～当院はどうか??～

2014年4月から12月までの病床利用率は88.6%でした。救命救急センター、地域医療支援病院として急性期医療を担うための病床も確保しつつ、可能な限りの病床の利用がされています。

病床利用率



※参考値 厚生労働省 病院報告 2014年10月 一般病床より